

1 地域生活支援拠点等検討部会

(1) 平成30年度検討事項と結果

ア 拠点等が担う役割・機能の検討について

障害者家族会や生活介護利用者等に対してアンケートを行うとともに、家族会代表者へのヒアリングを行い、居住支援の5つの機能（相談、緊急時の受入れ、体験の機会・場、専門性、地域の体制づくり）について、刈谷市におけるニーズと活用可能な既存資源を整理しました。

また、ニーズ等を整理した結果を踏まえ、以下のとおり、拠点の各機能について整備方針を決定しました。

	整備方針
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の休日、夜間の相談窓口を確保する。 ・緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握した上、緊急の事態等に必要な相談その他必要な支援を行う。
緊急時の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートを行う体制を確保する。 ・短期入所を活用した常時の緊急受入れ体制を確保し、介護者の急病等の緊急時の受入れ等を行う。
体験の機会・場	<ul style="list-style-type: none"> ・親元からの自立等にあって、グループホームの利用や一人暮らしの体験の場を提供する。
専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的なケアが必要な方や強度行動障害のある方に対して、専門的な対応を行うことができる体制を確保する。
地域の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間の連携の強化や地域の様々なニーズに対応できるサービスの提供体制を確保する。

(2) 平成31年度検討事項

拠点が担う機能の提供体制の検討

ア 「相談」の機能について

休日、夜間の窓口の必要性を整理した上で、本市の特性に応じて相談体制を検討する。また、緊急対応が必要な相談に対して適切かつ迅速に対応できるよう障害特性やサービスの利用状況等を把握する事前登録制の運用方法について検討する。

イ 「緊急時の受入れ」の機能について

人によって捉え方の異なる「緊急時」の定義を明確にするとともに、緊急時の受入れを適切に行うために、緊急時の活動の中心となるコーディネーターの提供主体や役割、受入先の確保について検討する。

ウ 「体験の機会・場」の機能について

親元からの自立にあたって、グループホーム体験の既存施設の利便性の向上や一人暮らし体験の場の拡大に向けて検討する。